

(様式2)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 5月 22日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490900150		
法人名	株式会社サンクリエイト		
事業所名	西町グループホーム		
所在地	広島県三原市西町一丁目10番8号 (電話) 0848-62-9531		
自己評価作成日	平成24年3月27日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	
-------------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	(社福) 広島県社会福祉協議会
所在地	広島県広島市南区比治山本町12-2
訪問調査日	平成24年4月17日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・自分らしく安心して生活を送れるよう、お一人おひとり大切に見守り声かけをしています。・ご利用者様の心に添った暮らしをしていただいております。・ホームの行事など地域の方に参加していただき交流を大切にしています。・毎月1回、女性の利用者様には花を生けていただきホームに飾っています。・男性の利用者様には力仕事など手伝っていただいております。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>西町グループホーム（以下、ホーム）は、三原駅から西へ徒歩10分、旧西国街道と西野川の間 に位置した市街地にあります。ホームの南側は西野川に面し、日当たり、見晴らしが良好です。 ホームには、認知症ケア専門士の有資格者がいます。職員は、入居者一人ひとりの状況に応じた ケアや不必要な制止の言葉を使わないように取り組み、入居者の言動や周りの環境に配慮されて います。投薬をはじめとする健康管理では、医師と相談しながらできるだけ自立した生活が過ご せるよう支援されています。</p> <p>街中に建設されたホームは、地域との交流を推進されています。地域には、ホームをサロンの場 所としての利用や、災害時の避難場所などに活用する提案もされています。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	玄関と各フロアー入口に額に入れて掲げ、スタッフの名札にも基本理念を付けて共有し、実現に向け取り組んでいる。	「自分らしく安心して生活が送れるよう心に添った暮らしを提供いたします」という理念を掲げ、玄関や事務室に掲示すると共に、職員の名札裏にも記載し共有されています。また、月1回のミーティングで職員全体で確認が行われています。さらに「入居者の言動を止めないで」を合言葉に、職員が入居者に寄り添ったケアに努めておられます。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ホームや地域の行事に参加することで、地域との交流をはかっています。	ホームは町内会に加入されています。町内会には、一人暮らしの高齢者が多く、気軽にホームにお茶を飲みに来てもらうよう声かけをされています。地域との交流スペースとしても、ホームを使用してもらうよう呼びかけをされています。また、秋祭りには神輿が来るなど、地域の一員として交流があります。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会している。災害時には、地域の方々の一時避難場所として提供を考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に一度、運営推進会議を開催し、利用者やサービスの取り組み状況等を報告。出席者との意見交換を行っている。	会議のメンバーは、家族代表、民生委員・児童委員、町内会長、高齢者相談センター職員、市役所職員で2か月に1回開催されています。会議では、運営状況や事故報告、課題等について協議されています。会議メンバーに、警察や消防署の呼びかけを検討されています。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に参加していただき、施設の状況等を把握して頂いている。	運営推進会議に三原市職員の参加があり、ホームの課題などを伝えておられます。看護師による医療的処置の制限について、三原市と協議し、問題解決に向けて連携を図っておられます。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束については、スタッフ全員が理解し、玄関の施錠などを含めた身体拘束をしない取り組みをしている。</p>	<p>職員は研修を通して、身体拘束をしないケアの取り組みについて周知されています。身体拘束に該当する行為があるときは、市役所に届け出るよう三原市からの指導も受けておられます。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者、スタッフ全員で虐待について注意をし、防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられる為、今後制度の説明を行う予定。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の時に管理者が、重要事項の説明と共に契約書の内容についての質問等を理解されるまで説明する。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議に家族代表の方にも参加していただき、意見を出す機会を設けている。また玄関入口に意見箱を置くことで、家族の方への意見を出す場を設けている。入居者には、声かけを行い希望などを会話を通してお聞きしている。</p>	<p>運営推進会議や家族の面会時に意見を聞くようにされていますが、これまで運営に関する意見は出されていません。三原市でもホームの苦情を受けるといった報告もありません。</p>	<p>運営の改善を図るためには、入居者や家族の意見を聞くことが重要となってきます。今後は、家族会の開催やアンケートなどで意見を伝えやすい方法を検討するよう期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月に一度フロアーミーティングを行い、職員の意見や提案などを話し合う機会を設けて反映させている。	月1回、フロアごとに行事や運営事項について、職員が協議されています。あえて管理者は出席せず、職員が自由に意見交換できるように配慮されています。介護記録の様式や申し送り記録は、職員の提案によって改善された事例もあります。職員が一丸となって取り組まれていることが伺えます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	懸命に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	施設内、外の研修を受ける機会を設け、研修への参加が出来るように配慮している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	現在、同業者との交流をする機会が作れていないので、今後、交流する機会を作る取り組みをしていきたい。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	管理者、ケアマネ、フロアリーダーが、入居される前に、本人に見学をしていただき、本人より不安や困っている事など要望を聞き、本人との関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>入居前に見学をしていただき、家族等の要望などを聞かせていただき、関係作りに努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族の話を聞き、必要とされる支援に対応するよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者の方に、出来る事や可能な事などを積極的にお願いし、一緒に行っている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>消耗品など物品の持参をしていただく協力をお願いし、定期的に面会に来ていただき、外出や外泊の支援もさせていただく。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>ご近所の方や知人の方などの面会も受け入れ、電話の取り次ぎも行っている。</p>	<p>入居者が昔勤めていた職場の知人が訪問されることがあります。馴染みの人との関係継続が難しくなっていることもあり、家族の面会を増やしてもらうよう呼びかけられています。家族には、入居者の馴染みのある品物や身の回りの物、消耗品などを持って来てもらうようにされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	利用者一人ひとりの関係を把握し、お互いが無理なく関わり合いながら生活が出来るよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	サービスが終了しても、本人・家族の相談などに対応出来るように努めている。		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望、意向を家族や本人に定期的に話し、支援の方法などを引き出していく。困難な場合は、本人本位の立場から支援を伝えていく。	重度者が増えていることもあり、一人ひとりの思いや意向の把握が難しくなっているように見受けられます。しかし一方で、社交ダンスをしていた入居者が、ボランティアの人と一緒に踊って楽しまれたりしています。また、居室に仏壇を持ち込み、毎日手を合わせている入居者もおられるなど、なるべく本人の意向に添うように支援されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	利用者のアセスメント情報交換などを行い、生活歴や馴染みの暮らし方などを入居者との会話などから聞き出し、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日頃の様子を把握し、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ミーティングや関係者への相談、家族からの聞き取り等から、介護計画の作成をケアマネを中心に行っている。	ケアマネジャーが1か月ごとにモニタリングされています。入居者ごとに担当者が決められ、担当者や家族の意見を参考に介護計画の見直しに取り組まれています。	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別記録や申し送りノートを活用し、スタッフ間での情報交換を行う。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人や家族のニーズの変化に対して、希望に近づける様に対応し、支援やサービスに取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	ボランティアの受け入れや地域の方の見学などに対応している。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	利用時に希望を伺い、かかりつけ医からの往診を受け入れたり、協力病院への転院の際に紹介状をお願いしている。ご家族と共に受診される場合には、体調や生活情報の手紙を用意し、ご家族の方に渡したり、口頭にて報告している。	家族付き添いのもとかかりつけ医へ受診したり、ホームへの往診を受けたりして、希望に添った支援をされています。また、協力医療機関に受診する場合は、看護職員の付き添いで対応されています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々のケアで気付いた事や情報など適切な助言を行ってもらう。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>ソーシャルワーカーとの情報交換を密にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>現在は行っていないが、将来的には看取りを行う予定である。</p>	<p>ホームでは、自宅での看取りが難しくなってきた状況を認識されています。そのため、今後家族から希望があれば、重度化や終末期のケアを受け入れる方針を持たれています。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AEDなどの研修や救急対応、マニュアルなどを活用して実践力を身に付けている。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練の実施や、火災・水害の場合の避難場所を決めている。</p>	<p>平成23年11月に消防署立会いのもと、防災訓練が実施されています。町内会に協力依頼し、地域からも訓練の参加を得られます。ホームは市街地にあり、周辺には集会所などがいないため、三原市から災害時の避難場所としての申し入れも受けておられます。ホームは、スプリンクラーが完備されています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入居者の人格を尊重し、尊厳を傷つけないように、一人ひとり声かけや対応に注意するよう心がけている。	職員には、言葉かけ、言葉づかいに配慮するよう指導されています。入居者の自尊心を傷つけないこと、言動を否定するような言葉を使わないように支援する方針を持たれています。また、プライバシー保護にも徹底されていることが確認できました。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人様が思いや希望を表し、自己決定できるような声かけや対応や雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者一人ひとりの主体性を尊重し、無理のない生活スタイルを支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	その季節に合った身だしなみやおしゃれをしていただくよう話をしたり、声かけなどの支援を行う。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事の下準備や食器洗い等をスタッフと一緒に行うことで、食事を楽しむことのできる環境にしている。	食事は、職員の手作りの物を提供されています。入居者は職員と一緒に、おかずの盛り付けや配膳、おやつづくりなどを手伝われています。行事食やバイキングも食事の楽しみとして提供されています。また、家族にどのような食事を摂っているか知ってもらうため写真付きで分かるようにされています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>食事量や水分量などのチェック表を使用し，一日を通じて確保出来ている。会話などから嗜好を聞き，出来るだけ希望に答えられるように努めている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>一人ひとりの能力に応じた口腔ケアを毎食後行っている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>一人ひとりの排泄パターンを把握するように努め，その方の能力に応じた排泄の支援を行っている。</p>	<p>排泄確認シートを作成し，自立に向けた支援のため定期的にトイレ誘導されています。おむつを使用する入居者が，日中はリハビリパンツで過ごせるようになった人もおられます。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便状況の確認をし，便秘傾向の方には乳製品の摂取や，看護師に相談しながら便秘改善に取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入居者からの希望や気分を尊重し，無理なく個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>家庭用の個浴が設置されています。毎日午後を入浴日に設定して，入居者の希望や気分に応じた支援をされています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	日々の体調を把握しながら、個々の生活習慣に沿って、安心して休息や臥床の出来るように配慮している。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとり処方される薬の内容は、常にファイルされていて、いつでも薬の内容が確認・把握出来るようになっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	その人に合った役割やレクリエーションを把握し、それらを生活に取り入れることで、楽しみごとや気分転換が図れている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	個々の体調に配慮し、本人の希望を把握しながら、家族の方などに協力をお願いし外出をして頂いている。また、お花見や紅葉狩りなどの行事として出かける機会を設けている。	お花見やドライブなどの外出行事が実施されています。日常的な外出は、家族の協力を得ながら、散歩や買い物へ出かけておられます。	今後は、入居者の思い出のある場所などへ外出したり、買い物、天気の良い日の散歩など、気分転換と軽い運動を兼ね出かけられるよう、ホームでも計画し実施することを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	お預り金を管理させていただき、本人の希望に応じて使用出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	本人の希望時は、いつでも電話を使用できる環境にある。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	常に共有スペースは過ごしやすいように、物の配置など工夫をしている。季節感や生活感などを取り入れることで、居心地良く過ごせるようにしている。	2つのユニットが1階、2階で分かれています。各階の南側中央部分にあるユニットの居間は広くゆったりとしたスペースがあり、日当たりも良好です。2階は天井も高く、天窓があるため開放感があります。幻視症状の予防のために、小さな飾り付けなどは行事の時以外は飾らないように配慮されています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	テレビ前にソファを置き、好きな時にテレビを観たり、他の入居者の方と一緒に過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	居室の配置や持参品は、本人と家族と相談し、本人が居心地良く生活が出来るよう配慮している。	入居者は、孫の写真、絵、仏壇、テレビ、椅子など、家と同じ生活で居心地良く過ごせるよう、思い思いの物を持ち込まれています。各居室に洗面台が設置されています。また、ベッドは自宅からの持ち込みも可能となっていますが、ホームではリースの物を提供しているため、定期的にマット交換があります。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	本人の目線に合わせて居室の入口に表札を貼っている。（家族の許可があった人のみ）室内は本人の使いやすいように物品を配置したり、建物全体は安全に過ごせるよう環境の整備に努めている。		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	各フロアー入口の見える位置に額に入れて掲げ、スタッフ全員の名札に基本理念をつけて共有し実現に取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	ホームの行事や地域の行事を通して地域との交流を図っています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会に入会している。 災害時には地域の方々の一時避難場所として提供を考えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	二ヶ月毎の運営推進会議にて、施設・利用者状況を報告し、出席者との意見交換を行っている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議に毎回出席してもらい、施設状況を把握して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>勉強会を通して身体拘束禁止の理解はされている。</p> <p>玄関の施錠を含め、身体拘束のないケアを実践している。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>管理者、スタッフ全員で虐待について注意をし、防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>現在、成年後見人制度を利用されている方がおられる為、今後制度の説明を行う予定。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の際は、管理者が重要事項の説明と共に、契約書の内容についての質問、疑問を納得されるよう説明している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて、家族代表の方の意見を聞き、その他は玄関入口に意見箱を設置している。利用者の方には声かけや会話を通して希望等をお聞きしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月1度のフロアーミーティングにて、職員の意見・提案を聞く機会を設けている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>懸命に努めている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>施設内・外の研修を受ける機会を設け、研修会の参加が出来るよう配置している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>同業者と交流する機会はまだ作れておらず、今後はそのような機会を作っていきたい。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前にグループホームに見学に来ていただき、その際、本人の要望や不安事を管理者、ケアマネ、フロアーリーダーが尋ね、把握している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用前の見学とアセスメントを通して、家族の不安・要望の把握に努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人やご家族と利用前に話し、支援の対応に努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>一緒に出来る事は一緒に行い、得意な事は積極的に行ってもらっている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>消耗品等の物品の持参で定期的に面会に来て頂いたり、外出・外泊の支援もしている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>知人の方や近所の方の面会も受け入れている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	レクリエーションや行事を通して利用者同士が交流できる環境作りをしている。		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	サービス終了後もご家族の相談に対応出来るよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	一人ひとりの要望・意向を家族、本人に定期的に尋ね、支援の方向を引き出し、聞き出し困難な場合は、本人本位の立場から支援を考えている。		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	生活歴の情報や入居後もご本人との会話を通して、一人ひとりの生活スタイルの把握に努めている。		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	日頃の様子観察を通して、一人ひとりの現状把握を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	ミーティングや関係者への相談、家族からの聞き取り等から介護計画をケアマネ中心に作成している。		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	個別記録や申し送りノートを活用し、職員間での情報交換を行っている。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	本人や家族のニーズに対し、出来るだけ希望にそえるような支援やサービスに取り組んでいる。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	ボランティアの受け入れや、地域の方の見学を受け入れている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	かかりつけ医の往診時には、職員が日頃の状況を伝え、受診の際は、ご家族協力の下、生活情報を伝えて頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>日々のケアで気付いた事や情報を職場の看護師に相談し、適切な助言を得られている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>医療機関のソーシャルワーカーとの情報交換を密にしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>現在は行っていないが、将来的には看取りを行う予定である。</p>		
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>AED等の研修や、救急対応マニュアルを作成し、急変時の対応を把握している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>避難訓練の実施や、火災・水害の場合の避難場所を決めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	尊厳を傷つけない言葉遣いや、対応を心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の希望に出来るだけそえるよう努力し、自分の希望を表現出来る雰囲気作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	あくまでもご利用者の主体性を尊重し、一人ひとりの生活スタイルを崩さないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	季節ごとに衣替えを行い、ご本人の好みの身だしなみとなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	簡単な食事の下準備や食器洗い等を通して、食事を楽しむことができる環境にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。</p>	一人ひとりに合った食事形態にし、嗜好も考慮しながら、食事量・水分量の確保に努めている。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	その方の能力に応じた口腔ケアを毎食後行っている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	一人ひとりの排泄パターンの把握に努め、能力に応じた排泄の支援を行っている。		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	毎日、排便状況の確認を行い、便秘傾向の方には乳製品の摂取や、看護師に相談しながら、便秘改善に取り組んでいる。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	入浴の準備は毎日しているが、曜日を決めずに、個人の気分を尊重している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>日々の様子観察で体調を把握しながら、休息や臥床を促している。個人の生活習慣を乱されないよう気をつけている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方された薬の内容は常にファイルされており、いつでも薬の内容が把握出来るようになっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>その人に合った家事やレクリエーションの好みの把握をしており、それらを通して日々の充実を図っている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>普段行けない場所は、ご家族の協力にて出掛けて頂いています。また行事を通して外出の機会を設けています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>お預り金を管理させていただき、ご本人の希望にて使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人希望時はいつでも電話を使用できる環境にある。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>常に空調や照明は居心地が良いと感じられるよう配慮し、毎日の掃除により清潔を保っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>利用者自らが好きな場所にいつでも居れるよう、定位置は決めていない。ソファと一緒にテレビを観たりと各々が楽しめている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室の配置、持参品は全てご本人とご家族に任せて、使いやすい物を持ってきて頂いている。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>本人の目線に合わせて居室の入口に表札を貼っている。（家族の許可があった人のみ）室内は本人の使いやすいように物品を配置したり、建物全体は安全に過ごせるよう環境の整備に努めている。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の3分の2くらいの
			③利用者の3分の1くらいの
			④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の3分の2くらいと
			③家族の3分の1くらいと
			④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の3分の2くらいが
			③職員の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の3分の2くらいが
			③利用者の3分の1くらいが
			④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の3分の2くらいが
			③家族等の3分の1くらいが
			④ほとんどできていない

(様式3)

2 目標達成計画

事業所名 西町グループホーム

作成日 平成 24 年 6 月 5 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	49	日常的な外出支援が出来ていない。	日常的な外出の機会を増やす。	個々のケアプランに取り入れていく。	半年
2	10	入居者, 家族との意見交換, 共有が出来ていない。交流がとれていない。	運営推進会議の充実。	出席者に積極的に意見を出していただき, 運営に反映させていく。	半年
3	〃	〃	入居者, 家族との交流の機会を作る。	面会時や行事の時に声かけをしていく。	半年
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。